

痙縮ボツリヌス注射後の 短期リハビリ入院のご案内

— 脳卒中後の手足のこわばり（痙縮）でお悩みの方へ —

当院では、

痙縮ボツリヌス注射の効果を最大限に引き出すための短期リハビリ入院プログラムを実施しています。

ボツリヌス注射の効果はリハビリ（運動療法）と併用することが有効とされています。

この期間に集中してリハビリを行うことで、

痙縮の軽減、筋の伸びの改善、動作能力向上などの効果が期待できます。

■ 対象となる方

- 脳卒中後の片麻痺により手足のこわばり（痙縮）に対してボツリヌス注射を受けられる方
- 病室からリハビリテーション室まで一人で移動できる方
- 医師の判断に基づき短期リハビリ入院が望ましいとされた方

■ 入院スケジュール

・ 2泊3日

土曜日	ボツリヌス注射、リハビリ 40分×1回
日曜日	リハビリ 40分×2回
月曜日	リハビリ 40分×1回、10時退院

■ 入院中のリハビリ内容

● 上下肢のストレッチ

痙縮の軽減、筋の長さ改善、動かしやすさの向上

● 自主練習指導

ご自宅でも続けられる簡単なトレーニング

● 日常生活動作（ADL）指導

可動域の維持、痛みの予防、生活動作の改善をサポート

■ お問い合わせ・ご相談

2階 Bステーションまで

お気軽に「ボツリヌス注射後の短期入院について」とお伝えください